

2026年度ブラッシュアップ講座

現在のリハビリテーション医療の現場で必要とされる知識や技術は非常に多岐にわたっています。本講座は現職PT・OT・STの方々に、最新情報とより高度な専門知識や技術を獲得していただくことを目的としています。さらに、本講座を通じて、本学と臨床現場、実習地の先生方との連携を強化し、より密なネットワークを築きたいと考えております。本講座が、臨床で活躍する皆様のスキル向上と、より良い医療の提供に貢献できるよう努めてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 会場** 文京学院大学本郷キャンパス記念館3階
- 申込方法** 本案内右のQRコードよりご登録ください。
※申込の際にメールアドレスが必要です
- 受講者の選考** 経験年数などを総合判断の上、受講の可否を決定し通知します。
- 申込締切** 4月30日(木)



4日間セミナー 【Aコース】

受講料44,000円(税込) 定員16名

日時	講師	テーマ	タイトル	内容・概要
6/20(土) 10:00~ 16:00	山崎 敦	上肢	肩関節複合体の機能解剖学	魚類の胸鰭に相当するヒトの上肢においては、その末梢部に位置する手を効果器として使用する。その方向性を決定するために存在する胸郭との連結部が、肩関節複合体である。本講義では、肩関節複合体の機能解剖について概説する。
7/18(土) 10:00~ 16:00	中俣 修	下肢	運動指導に活用するための触診	理学療法分野では様々な研究が報告されていますが、触診を通じて自身の感覚として理解することができる場合もあります。この講座では、姿勢や動作の観察や運動指導に触診を活用する方法を解説します。
	千代丸 正志	姿勢	立位動作の評価	立位保持下における重心移動動作は、支持基底面と身体重心との関係を把握することが重要です。この関係を足部の位置と体幹・骨盤アライメントとの対応関係として捉え直し、股関節および脊柱の動的評価へどのように結びつけるかについて解説します。
8/22(土) 10:00~ 16:00	正保 哲	運動生理	運動様式と血管機能	運動による血管の拡張・収縮するメカニズムや血管拡張に効果のある運動様式について、解説します。実際に運動を実施し、その簡便な評価法を用いて、運動効果について実際に体験します。
	大川 孝浩	下肢	歩行時の捻じれストレスと運動療法	変形性膝関節症をはじめ、運動器疾患では横断面で生じる捻じれストレスに起因していると考えられる所見が多く報告されています。本講座では歩行時に生じる捻じれストレスの解説とそれらに対する理学療法を紹介いたします。
9/5(土) 10:00~ 16:00	福井 勉	動作	運動の分散型制御と臨床応用	運動制御は中枢神経系だけで行われているものではなく、末梢でも様々な制御が行われています。その中で軟部組織特に皮膚の運動制御に対する特徴を示し、関節可動域の変化などへの運動療法やその他の方法を提示します。

2026年度ブラッシュアップ講座

現在のリハビリテーション医療の現場で必要とされる知識や技術は非常に多岐にわたっています。本講座は現職PT・OT・STの方々に、最新情報とより高度な専門知識や技術を獲得していただくことを目的としています。さらに、本講座を通じて、本学と臨床現場、実習地の先生方との連携を強化し、より密なネットワークを築きたいと考えております。本講座が、臨床で活躍する皆様のスキル向上と、より良い医療の提供に貢献できるよう努めてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 会場** 文京学院大学本郷キャンパス記念館3階
- 申込方法** 本案内右のQRコードよりご登録ください。
※申込の際にメールアドレスが必要です
- 受講者の選考** 経験年数などを総合判断の上、受講の可否を決定し通知します。
- 申込締切** 4月30日(木)



4日間セミナー 【Bコース】

受講料44,000円(税込) 定員16名

日時	講師	テーマ	タイトル	内容・概要
6/21(日) 10:00~ 16:00	上田 泰久	頭頸部	頭頸部の評価と運動療法	頭頸部の症状は多様であり、臨床では症例ごとに症状や代償パターンも異なります。本講座では、個別性を踏まえた上で、頭頸部を適切に触診できるよう体表解剖を理解したリスク管理、症状を改善するために機能解剖・運動連鎖に基づく評価と運動療法の講義・実技を行います。
7/19(日) 10:00~ 16:00	布施 陽子	ウィメンズ	ウィメンズヘルス理学療法	本講座では、女性のライフステージで生じる身体変化と、その変化に起因した健康問題について概説します。ライフステージの中でも、妊娠・出産による身体機能への影響は大きいと、理学療法士として産後女性に対してどのようにかわるか、実例や実技を通じて解説します。
	岡村 俊	上肢	上肢帯に対する理学療法	肩関節を構成する肩甲胸郭関節は浮遊関節であることから、体幹など中枢部から影響だけではなく、手関節など末梢部が影響している場合があります。そのため、状態に応じて、対応することが重要になります。今回は普段の臨床で用いている評価・運動療法をご紹介します。
8/23(日) 10:00~ 16:00	具志堅 敏	下肢	Faciaの視点からの評価とアプローチ	Faciaの構造や特徴について概説し、その動きの制限が人の運動にどのような影響をもたらすかについて考えていきます。また、下肢や体幹のFaciaの動きの制限を評価したりアプローチする方法について、実技を通して紹介します。
	五十嵐 達也	バランス	前庭リハビリテーションの視点に基づく平衡機能の評価とアプローチ - 加齢性・中枢性障害を中心に -	本邦では2024年に前庭リハビリテーションガイドラインが発行されましたが、知識・技術を体系的に習得した療法士は未だ多くありません。本セミナーでは、加齢性・中枢性障害を背景とした平衡機能障害に焦点を当て、前庭リハビリテーションの理論的背景から、臨床で実践可能な評価およびアプローチまでを整理して解説します。
9/6(日) 10:00~ 16:00	柿崎 藤泰	胸郭	胸郭運動システムの基礎	本講座では、以下の2つの点について解説します。 ①胸郭運動システムの概要 ②胸郭の3つの運動パターン 胸郭運動システムを理解するための基礎的知識について勉強しましょう。